

新中学校の学校像（案）

勝山市では、小中学校の教職員が連携して授業改善に取り組み、確かな学力の育成・深化を進めています。英語教育では、全国に先駆けて取り組んできた小学校英語を基礎として、小中高が連携した授業に取り組んでいるほか、タブレット端末を積極的に活用し「楽しく分かる授業」を実践しています。また、全小中学校がユネスコスクールに加盟し、「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」に認定されたふるさと勝山の豊かな自然・文化・歴史などを題材に、「環境教育」や「ふるさと学習」にも積極的に取り組んでいます。

令和の時代は、情報技術などの先端技術が急速に発展し、生活様式や社会が大きく変化していく予測困難な時代とされています。この令和の時代において、学校教育には、一人一人の子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と尊重し合い、協働しながら社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となる資質能力を育むことが求められています。

このような資質能力を育んでいくためには、知識や技能を身に付けるだけでは十分でなく、それらを活用して地域や社会の課題に取り組む探究的な学習や、同学年や異学年をはじめ他校種のより多くの児童生徒や、企業・地域の方々など幅広い年齢層の人々と積極的に交流したり活動したりする学習を進めることが必要です。

一方で、今後も少子化が見込まれる勝山市においては、生徒数の減少に伴い学校規模が小さくなってくると、きめの細かい丁寧な教育を進めることができる反面、生徒の人間関係の固定化や、集団活動・協働的な学習の制約、部活動の選択肢の減少などの課題が生じるほか、教職員の減少に伴ってバランスのよい教員配置が難しくなったり教職員の校務負担が増加したりするなどの課題も生じ、学校全体の活力の低下が懸念されます。

1 目指す教育 ー新中学校を勝山の教育の中核としてー

今後、子どもたちに身に付けさせたい資質能力や少子化の進行を見据え、勝山市の子どもを持続可能な社会の担い手として育てていくため、誕生から 18 歳成人に至るまで市民総がかりで切れ目なく支援し、最大限の教育効果を上げる新しい教育システムを構築していくことが必要です。

このため、県内有数の規模を誇るジオアリーナや、長山公園グラウンドを教育施設としても活用することとし、新中学校の新校舎を勝山高校の敷地内に建設し、中高生がこのエリアで共に学び交流する新たな文教ゾーンを整備します。

この新中学校においては、1 学級の人数は、本県独自の規準 (32 人) によって国の基準 (40 人) よりも少数で編成し、学校全体としては 1 学年 5 学級程度の適正規模でスタートします。この環境の中で、一人ひとりを大切にすきめの細かい教育を進めながら、様々な集団活動を通して互いに切磋琢磨し、豊かな情操や自己肯定感、他者への思いやり、社会性や人間関係を構築する力などを育む教育を推進していきます。

また、今後の学校教育においては、多様な人々との交流・協働による学習が重要であることから、新たな教育環境の中で、新中学校と勝山高校に連携型中高一貫教育を導入します。高校生をはじめ地域の多くの人々と関わる教育を通して、ふるさと勝山に愛着をもち、将来の夢や目標に向かって生き生きと成長することを支援する学校づくりを推進するとともに、中学生と高校生および教職員同士の繋がりや信頼関係を深め、中学生に確かな学力を育成することを通して、勝山高校への進学者増や勝山高校のさらなる学力向上にも結び付けていきます。

さらに、中高の連携を各小学校や隣接する特別支援学校にも広げ、新中学校が今後の勝山市の教育の中核となって学校間の連携をより強化し、これまで勝山市が進めてきた教育をさらに高みへと充実・発展させて、勝山の子どもが勝山で学ぶ優位性をより一層高めていきます。

2 目指す学校像

・「新しい時代に生きる力を育む学校」

自ら考え、他者と協働しながら課題を解決していく主体的な学びを支援する学校

・「夢や希望の実現を支援する学校」

個性や能力を伸ばし、目標に向かって自ら粘り強く挑戦することを支援する学校

・「ふるさと勝山への誇りと愛着を育む学校」

地域とつながり、豊富な体験活動を通じたふるさと勝山の学びを支援する学校

・「安全・安心で保護者や地域から信頼される学校」

互いに認め合い尊重し合って、生き生きと学校生活を送ることを支援する学校

3 目指す生徒像 4つのC

- | | |
|------------------------------|---------------|
| (1) 何事にも自信を持って粘り強く挑戦し学び続ける生徒 | Challenge |
| (2) 多様な他者と協働し主体的に考え行動する生徒 | Collaboration |
| (3) 自分と他者のよさを認め尊重し関わり合う生徒 | Communication |
| (4) 自分らしい生き方を考え将来をデザインする生徒 | Career |

4 連携型中高一貫教育を生かした特色ある教育内容

(1) 探究的な学習

中学生が地域と連携した探究学習をより充実させ、課題解決能力や論理的思考力、情報発信力などの能力を育むため、勝山高校が推進する探究学習と連携した学習を進めます。また、勝山市にキャンパスを設置する予定の福井県立大学恐竜学部(仮称)と連携し、「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」に根ざした探究学習の充実・深化を図ります。

- ふるさと勝山の自然、文化、歴史、産業、食などをテーマに探究学習を実施
 - ・ジオパーク学習をベースに、SDGs^{*1}を踏まえたESD^{*2}教育を推進
- 勝山市や地域の活動等に参画したり、中高生合同での取り組みを実施
 - ・学習成果は、発表会、市長への提言、HP等により積極的に情報発信
- 地域探究センター(仮称)を設置し、地域、大学、企業等との連携活動を推進
- 中学生の学習に高校生が助言したり、中高合同の発表会等を通じて学習内容を深化
- 高校の探究学習に触れることで、視野を拡げ、探究スキルを向上

(2) 高校教員によるアシスト授業

中学校段階の学習の理解をより定着・深化させ、学力の向上を図るため、高校の教員が中学校の授業に参加し、高校の学習に接続する指導を実施するとともに、大学進学などの目標を持つ生徒には発展的な学習を実施します。

- 中学3年次の数学と英語の授業に高校教員がティームティーチングで参加
 - ・3年生全クラスで実施
 - ・高校での学習に見通しを持ち、学習意欲が向上するよう中学校の学習内容と高校での学びを接続する指導を実施
 - ・理解度に応じて高校レベルの問題にも取り組み、授業のほか個別指導で学力を強化
- 中高の学習指導の相互理解により、中高教員の指導力をさらに向上

(3) ライフデザインタイム

生徒一人ひとりが、多様な人々の生き方や考え方を通して自分のよさや可能性を認め、興味関心を広げながら自分の将来を考える機会を充実するため、各教科の時間に加え新たに「ライフデザインタイム」の時間を設定し、キャリア教育を推進します。

- 自分らしい生き方や将来の目標を考える学習を生徒が主体的に実施
- 高校や大学などを卒業した後の進路について、中学生が、高校の進路指導に触れる機会や高校生・大学生と語る会の開催などを通して学び、進路に向けた意識を向上
- 地域の方々や企業、大学などの外部人材による授業や、商・工・農・福祉・医療等の仕事を学ぶ授業、職場体験等を実施し、進路選択の視野を拡大

(4) 生徒主体で進める学校行事・特別活動・部活動

体育祭や文化祭、修学旅行、生徒会活動、部活動などは、生徒の主体性や創造性を育む重要な機会であるため、高校生の主体的な活動などに触れ学び、教職員の支援のもと、生徒が自ら企画し運営する活動を推進します。

- 生徒会活動や学校行事などで、高校生の自主的な活動に触れたり、合同で実施したりすることを通して、中学生の主体性や企画力、実行力などを向上
- 高校生や地域の方々とは様々な活動で連携・交流することを通して、社会性やコミュニケーション能力を向上
- 合同練習が可能な部活動では、高校レベルに触れてスキルを向上し生徒主体の活動を実践

(5) ICT環境の充実と効果的活用

情報技術の発展により、教育のデジタル化がさらに進展することを見据え、校内のICT^{※3}環境を充実して、タブレット端末を文具のように活用するなど生徒のデジタル活用力を高めるとともに、優れたデジタル市民になるために必要な能力を身につける「デジタル・シティズンシップ教育」を推進します。

- プロジェクターを多数設置するなど校内のICT環境を整備し、小グループでのプレゼンテーションなど中高の生徒が発表し合う機会を充実して、表現力や情報発信力を向上
- 高校と同じタイプのタブレット端末であるメリットを生かして、オンラインでの交流や活動、学習において積極的に活用し、中高連携の効果を向上
- 学習効果の高いデジタル教材を導入し、楽しく分かる授業を進め、主体的な学びを支援
- オンラインで国内外の学校・企業などの多様な人々と交流し、英語の学びや探究学習、キャリア教育等を充実

※1 SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」という理念のもと世界の様々な課題を解決していく国際社会共通の目標のこと

※2 ESD (Education for Sustainable Development)

ESD教育とは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育

※3 ICT (Information and Communication Technology)

情報通信技術と訳され、人とインターネット、人と人がつながる通信技術のこと